

2013年(平成25):新春長門温泉グルメ旅行



平成25年洋友会九州旅行部 新春長門の旅 於:長門湯本温泉山村別館 H25.1.19

湯本温泉・山村別館にて

前日の、大雪警報で心配されましたが、雪によるトラブルよりJR鹿児島線の事故で危うく乗り遅れる人も出る寸前でしたが、なんとか定刻の新幹線に間に合い、総勢14名で博多駅を出発。厚狭からはめずらしい、1両編成のローカル線的美祢線に乗り換え、博多から約2時間で長門湯本駅に到着。名湯の湯本温泉でゆっくりと日頃の疲れを癒し名物の「ふく会席」の夕食懇親会は、参加者の自己紹介で始まり酒席も盛り上がり、話に花が咲き会員相互の親睦が大いに計れ、その後の2次回は、会長の部屋で全員で夜遅くまで歓談し時間の経つのを忘れ楽しい一時を過ごせました。



平成25年洋友会九州旅行部 新春長門の旅 於:山村別館二次会 H25.1.18

懇親会の状況



平成25年 洋友会九州 新春長門の旅 於:金子みすゞ館 H25.1.19

金子文英堂

2) 大いに盛り上がった二次会

今回は14名の参加と少なく、一般のツアーへの参加でしたが、最終的には幹事の努力と旅行会社の配慮で貸切同様となりました。むしろ小ぢんまりとした最高の楽しい旅行となりました。懇親会の後、幹事室に集合。現在の社会情勢、洋友会の現状、又現役時代の思い出や今後の生活などの話に切りがなく時の経つのも忘れ、延々と話が弾みました。

写真は二次会のスタートで氣勢が上がる。

3) 金子みすゞ館・見学

2日目は、大正後期に彗星のように現れた「幻の童謡詩人--若き童謡詩人の中の巨星」と賞賛された「金子みすゞ館」を見学しました。金子みすゞがどのような経緯で現代に蘇ったのか、又その作品と生涯を見させて頂き深い感銘を受けました。この世の全ての人に暖かい眼差しを向けた「みすゞ」の作品は、多くの人に深い感銘を呼び、世界の人々に広がっています。

4) 大寧寺 --> 長門豊川稲荷

大寧寺は長門市深川湯本にある古刹で、応永17年(1410)大内氏16代盛房の子孫鷲頭弘忠が開山したものです。大内義隆父子自刃の地であり、その墓地遺跡があります。また、山口県三大奇橋の一つである「磐石橋」があります。長門湯本温泉のシンボルで「西の高野山」とも呼ばれる曹洞宗・大寧寺。春に桜、秋には紅葉と四季折々に彩られます。大寧寺と千本のぼりの奥には、長門豊川稲荷があります。日本三大稲荷の一つ愛知県豊川市の豊川稲荷と大寧寺が明治維新に関わる秘話によって結ばれているためです。



平成25年洋友会九州旅行部 新春長門の旅 於:長門豊川稲荷 H25.1.19

長門・豊川稲荷神社にて

平成25年度 洋友会九州・旅行部会
 「新春・長門湯本温泉グルメの旅」スナップ集：H25.1.18～19



平成25年洋友会九州 新春長門の旅 於：長門湯本温泉「山村別館」H25.1.18

懇親会の記念写真



金子みすゞ館&金子文英堂



金子みすゞ像



金子みすゞ館入口ホテルの壁画



庭には詩の石碑が...



宿泊した山村別館



松岡会長の乾杯で懇親会開催

←中島幹事より挨拶と旅行の説明あり

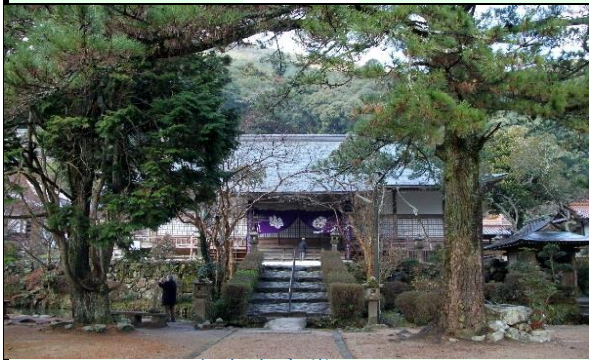




大寧寺川に架かる「虎溪橋」



大寧寺の案内看板



大寧寺本堂



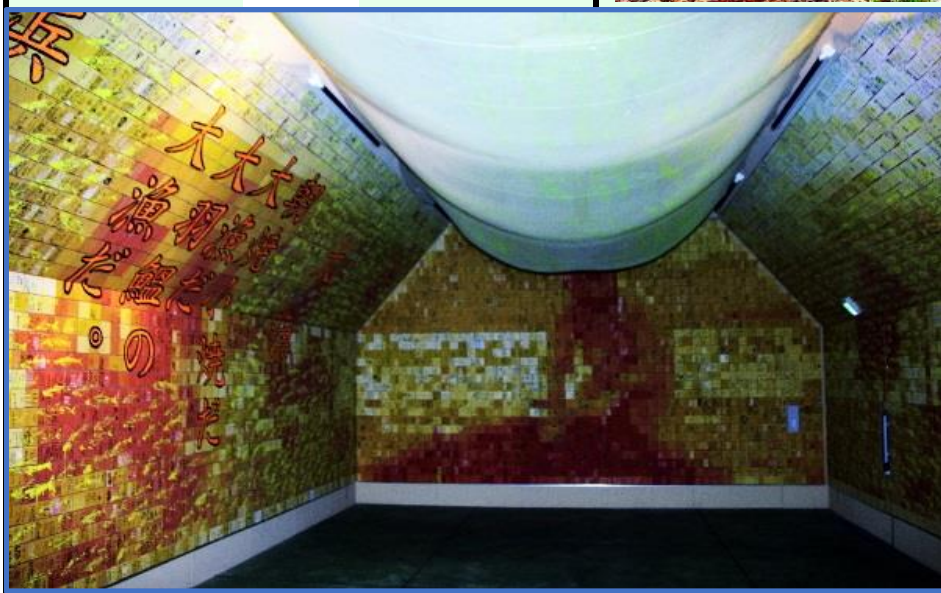
大寧寺から豊川稲荷に千本のぼりが



長門豊川稲荷



防長三奇橋のひとつ「盤石橋」



←プロジェクトM20000特別展示室

↓北長門・海鮮村

